



2021年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月30日
上場取引所 東

上場会社名 塩野義製薬株式会社
コード番号 4507 URL http://www.shionogi.co.jp
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 手代木 功
問合せ先責任者 (役職名) 広報部長 (氏名) 京川 吉正 TEL 06-6202-2161
四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	148,452	△9.3	55,308	△12.5	67,189	△4.9	49,382	△9.3	49,381	△9.2	54,313	105.1
2020年3月期第2四半期	163,635	—	63,196	—	70,656	—	54,420	—	54,382	—	26,483	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	160.83	160.77
2020年3月期第2四半期	174.66	174.43

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	930,846	836,516	836,463	89.9
2020年3月期	871,526	764,611	764,560	87.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	50.00	—	53.00	103.00
2021年3月期	—	53.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	53.00	106.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	318,100	△4.6	133,200	2.0	159,600	0.7	119,700	△2.0	385.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	311,586,165株	2020年3月期	316,786,165株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,343,670株	2020年3月期	13,002,082株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	307,037,868株	2020年3月期2Q	311,355,826株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記

（国際財務報告基準（IFRS）の適用）

当社グループは、前連結会計年度末（2020年3月期）における連結財務諸表から国際財務報告基準（IFRS）を任意適用しております。なお、前第2四半期連結累計期間の財務数値につきましてもIFRSに準拠して表示しております。

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明会内容の入手方法）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しております。

当社は、2020年11月2日（月）にアナリスト向けに説明会を開催する予定です。説明内容（トランスクリプト）については、当日使用する資料とともに、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	4
(2) 要約四半期連結財政状態計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	8
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報)	11

1. 経営成績等の概況

当社グループは、前連結会計年度末(2020年3月期)における連結財務諸表から国際財務報告基準(IFRS)を任意適用しております。なお、前第2四半期連結累計期間の財務数値につきましてもIFRSに準拠して表示しております。

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)の業績は、以下のとおりです。

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間	前第2四半期 連結累計期間	増減	増減率(%)
売上収益	148,452	163,635	△15,183	△9.3
営業利益	55,308	63,196	△7,887	△12.5
コア営業利益※	55,804	63,454	△7,649	△12.1
税引前四半期利益	67,189	70,656	△3,466	△4.9
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	49,381	54,382	△5,001	△9.2

※会計基準の変更に伴い、会社の経常的な収益性を示す利益指標として「コア営業利益」を設定し、これを当社独自の業績管理指標として採用しております。「コア営業利益」は、営業利益から非経常的な項目(減損損失、有形固定資産売却益等)を調整した利益となります。

売上収益につきましては、前年同期比9.3%の減収となりました。国内医療用医薬品の売上収益につきましては、サインバルタ及びビインチュニブの売上収益が拡大したものの、新型コロナウイルスの感染拡大による受診抑制等、医薬品市場における環境変化に加え、長期取藏品を中心に薬価改定による影響を受けた結果、前年同期比8.3%の減収となりました。海外子会社及び輸出の売上収益につきましても、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大による影響を受けて、中国で販売するラベプラゾール等一部製品の売上収益が減少しました。加えて、米国において、前第2四半期連結累計期間にバイオデリバリー・サイエンシズ・インターナショナル社よりSymproicの共同販売契約に伴う一時金を受領した影響が大きく、海外子会社及び輸出の売上収益は、前年同期比37.3%の減収となりました。製造受託による売上収益につきましては、ドルテグラビル原薬の製造法改良を控えた一時的な受注減や、インフルエンザの流行予想に基づくゾフルーザの受注減等の影響により、前年同期比33.7%の減収となりました。ロイヤリティー収入につきましては、ヴィーブ社による抗HIV薬テビケイ、トリーメク、ジャルカ及びドゥベイトのグローバル販売は引き続き堅調に推移したものの、為替の影響並びに同社のコロナ禍対応による出荷調整の影響を受けた結果、同社からのロイヤリティー収入は前年同期比1.6%の減収となりました。ロイヤリティー収入全体では前年同期比2.2%の減収となりました。

利益面では、営業利益につきましては、新型コロナウイルス感染の拡大を受けて医療機関への訪問自粛等の対応を行ったため、販売費及び一般管理費が減少した一方で、新型コロナウイルスに対する治療薬、ワクチン等の最優先課題や注力プロジェクトへの研究開発投資が増加した結果、前年同期比12.5%の減少となりました。コア営業利益は、営業利益とほぼ同様の前年同期比12.1%の減少となりました。税引前四半期利益につきましては、ヴィーブ社からの受取配当金の増加及び為替差損の減少により、前年同期比4.9%の減少となりました。また、親会社の所有者に帰属する四半期利益につきましては、前年同期比9.2%の減少となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は9,308億46百万円で、前連結会計年度末に比べて593億19百万円増加しました。

非流動資産は、Tetra社の連結子会社化によるのれんの増加等により前連結会計年度末に比べて129億61百万円増加となりました。流動資産は、現金及び現金同等物及び3ヶ月超の定期預金(流動資産のその他の金融資産に含みます)の増加等の結果、前連結会計年度末に比べて463億58百万円増加しました。

資本については8,365億16百万円となり、四半期利益の計上と配当金の支払、第三者割当による自己株式の処分の結果、前連結会計年度末に比べて719億5百万円増加しました。

負債については943億29百万円で、前連結会計年度末に比べて125億85百万円減少しました。

非流動負債は、35億43百万円減少となりました。流動負債は、低調な販売活動に伴う未払金(流動負債のその他の金融負債に含みます)の減少等の結果、90億42百万円減少となりました。

なお、前連結会計年度に連結子会社としたUMNファーマ社及び当連結会計年度に連結子会社としたTetra社について、取得原価の配分等が完了していないため、暫定的な会計処理を行っています。

(3) 当四半期のキャッシュ・フローの概況

当第2四半期連結累計期間の「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、営業債権及びその他債権の回収額の減少等により、前年同期に比べ156億40百万円少ない469億78百万円の収入となりました。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、余資運用に係る有価証券の取得・売却及び子会社の取得による支出等により、前年同期に比べ288億91百万円多い282億64百万円の支出となりました。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、第三者割当による自己株式の処分等により、前年同期に比べ313億10百万円キャッシュが増加し、140億62百万円の収入となりました。

これらを合わせた当第2四半期連結累計期間の「現金及び現金同等物の増減額」は315億76百万円の増加となり、当第2四半期連結会計期間末の「現金及び現金同等物の四半期末残高」は、2,404億37百万円となりました。

(4) 今後の見通し

最近の業績動向を踏まえ、2020年5月11日に公表した2021年3月期通期連結業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正

2021年3月期通期連結業績予想数値の修正（2020年4月1日～2021年3月31日）

	売上収益 (百万円)	営業利益 (百万円)	税引前利益 (百万円)	親会社の所有者に 帰属する当期利益 (百万円)	基本的1株当たり 当期利益 (円)
前回発表予想 (A)	323,500	110,300	136,300	103,600	333.93
今回修正予想 (B)	318,100	133,200	159,600	119,700	385.83
増減額 (B-A)	△5,400	22,900	23,300	16,100	—
増減率 (%)	△1.7	20.8	17.1	15.5	—
(ご参考) 前期実績 (2020年3月期)	333,371	130,628	158,516	122,193	395.71

※当社は、2020年3月30日開催の取締役会決議に基づき、2020年7月29日付で第三者割当による自己株式の処分を実施いたしました。前回発表予想の「基本的1株当たり当期利益」については、当該自己株式の処分の影響を考慮しております。

2. 連結業績予想の修正理由

売上収益につきましては、2020年8月31日に公表しました医薬品製造を請け負うナガセ医薬品株式会社の連結子会社化による増加を見込む一方で、第2四半期連結累計期間における医療用医薬品の販売状況を考慮し、通期で従来予想を下回る見通しです。利益面につきましては、シオノギ渋谷ビル再開発に伴う交換益※により営業利益は従来予想を上回る見通しです。前述の通り売上収益が減少する中、引き続き売上原価を含めた総コストのコントロールを徹底しつつ、中長期的な成長に向けた投資を行ってまいります。また、税引前利益及び親会社の所有者に帰属する当期利益は、営業利益の増加に伴い、それぞれ通期で従来予想より増加する見通しです。

※当社が保有しておりますシオノギ渋谷ビルにつきまして、再開発計画が進み、当社を含む4地権者で構成する再開発組合との権利変換が2020年度下期に発生することになりました。この権利変換はIFRS上、交換取引に該当し、交換後の土地及び建物についての権利を公正価値で測定する必要があり、交換益が発生する見込みであります。なお、交換益については公正価値を精査中のため金額が変動する可能性があります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上収益	163,635	148,452
売上原価	△27,704	△22,857
売上総利益	135,930	125,594
販売費及び一般管理費	△46,643	△43,157
研究開発費	△23,327	△24,854
製品に係る無形資産償却費	△1,618	△1,611
その他の収益	245	245
その他の費用	△1,390	△909
営業利益	63,196	55,308
金融収益	9,713	12,805
金融費用	△2,254	△925
税引前四半期利益	70,656	67,189
法人所得税費用	△16,235	△17,806
四半期利益	54,420	49,382
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	54,382	49,381
非支配持分	38	1
四半期利益	54,420	49,382
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	174.66	160.83
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	174.43	160.77

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期利益	54,420	49,382
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定するものとして指定した資本性金融商品の公正価値の純変動額	△2,731	1,907
確定給付制度の再測定	744	1,576
純損益に振り替えられることのない項目合計	△1,987	3,483
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の外貨換算差額	△27,010	3,592
キャッシュ・フロー・ヘッジの有効部分	1,060	△2,144
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	△25,949	1,447
税引後その他の包括利益合計	△27,936	4,931
四半期包括利益	26,483	54,313

四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	26,546	54,312
非支配持分	△62	1
四半期包括利益	26,483	54,313

(2) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産		
非流動資産		
有形固定資産	71,350	70,350
のれん	10,854	27,234
無形資産	46,536	46,955
使用権資産	4,657	4,554
その他の金融資産	202,161	206,565
繰延税金資産	3,048	4,023
その他の非流動資産	16,890	8,778
非流動資産合計	355,500	368,461
流動資産		
棚卸資産	33,818	39,070
営業債権	79,804	79,024
その他の金融資産	171,157	185,876
未収法人所得税	192	114
その他の流動資産	22,191	17,861
現金及び現金同等物	208,861	240,437
流動資産合計	516,026	562,384
資産合計	871,526	930,846

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資本及び負債		
資本		
資本金	21,279	21,279
資本剰余金	20,432	20,734
自己株式	△77,292	△7,982
利益剰余金	708,291	707,718
その他の資本の構成要素	91,848	94,713
親会社の所有者に帰属する持分	764,560	836,463
非支配持分	51	52
資本合計	764,611	836,516
負債		
非流動負債		
リース負債	4,791	4,316
その他の金融負債	4,179	3,527
退職給付に係る負債	16,089	13,730
繰延税金負債	373	343
その他の非流動負債	362	334
非流動負債合計	25,795	22,252
流動負債		
リース負債	3,361	3,407
営業債務	10,763	9,425
その他の金融負債	17,557	11,393
未払法人所得税	21,886	24,253
その他の流動負債	27,551	23,597
流動負債合計	81,119	72,077
負債合計	106,915	94,329
資本及び負債合計	871,526	930,846

（3）要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間（自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2019年4月1日残高	21,279	21,277	△28,882	613,483	181,616	808,774	4,313	813,087
四半期利益				54,382		54,382	38	54,420
税引後その他の包括利益合計					△27,835	△27,835	△100	△27,936
四半期包括利益	-	-	-	54,382	△27,835	26,546	△62	26,483
自己株式の取得			△5			△5		△5
自己株式の処分		△237	620			383		383
配当金				△15,564		△15,564		△15,564
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				2,599	△2,599	-		-
その他		148		△148		-		-
2019年9月30日残高	21,279	21,188	△28,266	654,752	151,181	820,134	4,250	824,385

当第2四半期連結累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

（単位：百万円）

	資本金	資本剰余金	自己株式	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	親会社の 所有者に 帰属する 持分	非支配持分	資本合計
2020年4月1日残高	21,279	20,432	△77,292	708,291	91,848	764,560	51	764,611
四半期利益				49,381		49,381	1	49,382
税引後その他の包括利益合計					4,931	4,931		4,931
四半期包括利益	-	-	-	49,381	4,931	54,312	1	54,313
自己株式の取得			△6			△6		△6
自己株式の処分		△4,705	38,404			33,698		33,698
自己株式の消却		△30,912	30,912			-		-
配当金				△16,100		△16,100		△16,100
その他の資本の構成要素から利益剰余金への振替				1,576	△1,576	-		-
その他		35,919		△35,430	△488	△0		△0
2020年9月30日残高	21,279	20,734	△7,982	707,718	94,713	836,463	52	836,516

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース負債の返済による支出	△1,684	△1,795
自己株式の取得による支出	△5	△6
自己株式の処分による収入	—	33,534
配当金の支払額	△15,558	△16,093
非支配持分からの子会社持分取得による支出	—	△1,575
その他	—	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,247	14,062
現金及び現金同等物の為替変動による影響	△1,466	△1,200
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	44,531	31,576
現金及び現金同等物の期首残高	195,800	208,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	240,332	240,437

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、以下の基準を適用しております。以下の基準の適用が要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

IFRS		新設・改訂の概要
IFRS第3号	企業結合	企業結合に関する事業の定義を修正

(セグメント情報)

当社グループは、医療用医薬品の研究開発、仕入、製造、販売並びにこれらの付随業務を事業内容とする単一事業であります。製品別の販売状況、会社別の利益などの分析は行っておりますが、事業戦略の意思決定、研究開発費を中心とした経営資源の配分は当社グループ全体で行っており、従って、セグメント情報の開示は省略しております。